

- 令和5年11月1日、産学官からなる会員のうち20機関の出席のもと富山県部会を開催。
- 労働局から県内建設業における雇用情勢の最新状況の説明のほか、担い手確保に係る“新4K”の取り組み等の話題提供を行い、認識を共有するとともに、今年度の活動報告、今後の取り組み方針について意見交換を行った。

## 開催概要

- ・日時 令和5年11月1日（水）14:00～15:30
- ・会場 富山河川国道事務所大会議室
- ・出席機関  
[建設産業] 日建連北陸支部、富山県建設業協会、建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山県測量設計業協会、富山県地質調査業協会、日本道路建設業協会、日本造園建設業協会  
[教育機関] 富山大学、富山県立大学、富山工業高等学校、桜井高等学校、高岡工芸高等学校、南砺福野高等学校  
[行政] 富山河川国道事務所、黒部河川事務所、立山砂防工事事務所、利賀ダム工事事務所、富山労働局、富山県土木部、富山県教育委員会

## 意見交換等での発言要旨

- 事務局提案の「建設業の役割と魅力パンフレット（案）」への意見として、若者が都会に流出していく現状を踏まえ、北陸で働く“楽しさ”や“魅力”という視点をもっとアピールしてはどうか。（ex：生まれ育った地元で働ける、自然が近く充実した休日が過ごせる）
- また、北陸の特性である雪について、特に、住民ニーズの高い除雪の仕事の重要性として表現してはどうか。
- 職業選択に際し、学生よりもその保護者をターゲットにした見学会等が有効と思われる、アテンドも若手職員が行う方が効果的である。
- 新卒より中途採用の人材の方が現場では即戦力となることから、中途採用者を対象とした活動を行ってみたいはどうか。

## 開催状況

